



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社ヨコオ 上場取引所 東
 コード番号 6800 URL http://www.yokowo.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員常務 (氏名) 横尾 健司 (TEL) 03-3916-3111
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	24,765	18.3	1,316	17.3	1,395	103.2	1,071	163.2
29年3月期第2四半期	20,937	7.7	1,122	149.6	686	78.1	407	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,726百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △667百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	53.14	52.90
29年3月期第2四半期	20.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	36,783	22,357	60.8
29年3月期	33,319	20,836	62.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 22,346百万円 29年3月期 20,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
30年3月期	—	8.00			
30年3月期(予想)			—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	12.3	2,850	13.2	2,700	3.5	1,800	△24.4	89.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 東莞友華電子有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	20,849,878株	29年3月期	20,849,878株
30年3月期2Q	663,188株	29年3月期	728,888株
30年3月期2Q	20,161,595株	29年3月期2Q	20,004,786株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の本資料に記載されている業績見通し等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は、すべてのセグメントが前年同期比で増収となり、247億6千5百万円（前年同期比+18.3%）となりました。営業損益につきましては、車載通信機器セグメントが赤字となったものの、回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントが前年同期比で大幅な増益となったことから、13億1千6百万円の利益（前年同期比+17.3%）となりました。経常損益につきましては、前年同期における多額の為替差損計上に対し、当第2四半期連結累計期間においては円安進行による為替差益5百万円計上となったことなどにより、13億9千5百万円の利益（前年同期比+103.2%）と、前年同期比で増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常増益に加え、税金費用負担率の正常化などにより、10億7千1百万円の利益（前年同期比+163.2%）と、前年同期比で大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しております。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の測定方法にて組み替えた数値にて比較しております。

① 車載通信機器

当セグメントの主要市場である自動車市場は、アセアン市場においては安定した需要がみられたものの、米国市場においては需要が頭打ちとなったことから新車販売台数が前年を下回り、中国市場においては成長の鈍化傾向がみられました。国内におきましては、登録車の堅調な推移に加え、軽自動車の大幅な反動増により、新車販売台数は前年を上回りました。

このような状況の中、主力製品であるシャークフィンアンテナ/マイクロアンテナをはじめとする自動車メーカー向けアンテナは、国内・海外ともに販売が伸長し、前年同期を上回りました。また、国内向けを主とする製品については、E T C車載アンテナはE T C 2.0対応特需の反動減となったものの、フィルムアンテナは前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は172億3千2百万円（前年同期比+14.3%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、中国において製造要員確保・定着率向上のための賃金引上げなどで労務費が膨らんだほか、新規採用要員比率上昇に伴う生産性低下や部品調達遅れなどから航空便を多用し、製品輸送費用が大幅増となったことなどにより、7千6百万円の損失（前年同期は6億7千3百万円の利益）となりました。

② 回路検査用コネクタ

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、パソコン向けの低迷、タブレット向けの減少や、スマートフォン向けの成長鈍化懸念の一方で、NAND/DRAMなどメモリー需要の増加により、全体としては成長が継続するものとみられております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるBGAソケット等半導体後工程検査用治具の販売は、旺盛な受注増と円安効果により、前年同期を大幅に上回りました。また、高周波電子部品検査用MEMSプローブカードを戦略製品とする半導体前工程検査用治具の販売も、積極的な拡販活動により、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は44億5千6百万円（前年同期比+29.6%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、増収による増益に加え、マレーシア工場生産比率引上げによる原価率低減、円安メリットなどにより、8億2千2百万円の利益（前年同期比+192.1%）となりました。

③ 無線通信機器

当セグメントの主要市場は携帯端末市場及びPOS端末市場であり、携帯端末市場は、スマートフォン/タブレット端末が世界的な飽和傾向により伸びが鈍化しております。一方のPOS端末市場は、物流/製造を始め幅広い業界での利用拡大が続いており、端末機器の多様化・高機能化とともに着実な成長が見込まれております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、POS端末メーカー向け販売の順調な推移に加え、携帯端末メーカー向けの販売が受注増により回復傾向となり、売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントに含めております医療・デバイス事業につきましても、海外顧客向けガイドワイヤユニット販売の本格化などにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は30億7千6百万円（前年同期比+26.9%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、増収による増益に加え、比較的利益率の高い製品の比率上昇などにより、5億5千2百万円の利益（前年同期比+238.8%）となりました。

(事業セグメント別連結売上高)

(単位：百万円、%)

	前年度上期 自平成28年4月 至平成28年9月	前年度下期 自平成28年10月 至平成29年3月	当年度上期 自平成29年4月 至平成29年9月	前年同期比	前半期比
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	15,073	16,955	17,232	+14.3	+1.6
回路検査用コネクタ	3,437	3,445	4,456	+29.6	+29.3
無線通信機器	2,425	2,738	3,076	+26.9	+12.3
合計	20,937	23,140	24,765	+18.3	+7.0

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間（当上期）の実績及び直近の受注見通しを踏まえ、売上高を上方修正いたします。営業利益につきましては、車載通信機器セグメントの損益が改善傾向にあり、回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントで想定を上回る推移が続くものと見込んでおりますが、新興国通貨高による円換算の生産コスト上昇などを勘案し、前回予想を据え置くことといたします。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、想定為替レート変更に伴い前回予想より為替差損見込額が縮小することなどから、上方修正いたします。

想定為替レートは、本年11月以降当期末まで1米ドル=110円（前回予想時は105円）と設定しております。

通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(単位：百万円、%)

	業績予想 (平成29年8月公表)	修正予想	増減	増減率
売上高	48,000	49,500	+1,500	+3.1
営業利益	2,850	2,850	—	—
経常利益	2,400	2,700	+300	+12.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,550	1,800	+250	+16.1

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,818,150	5,530,752
受取手形及び売掛金	9,248,141	10,440,546
商品及び製品	3,110,795	4,097,358
仕掛品	353,943	314,545
原材料及び貯蔵品	2,438,513	2,754,240
その他	1,490,853	1,819,122
貸倒引当金	△16,924	△15,173
流動資産合計	22,443,473	24,941,393
固定資産		
有形固定資産	7,782,936	8,391,915
無形固定資産		
その他	579,863	517,049
無形固定資産合計	579,863	517,049
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	18,366
その他	2,513,535	2,914,965
投資その他の資産合計	2,513,535	2,933,332
固定資産合計	10,876,335	11,842,297
資産合計	33,319,808	36,783,691
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,690,100	6,048,896
短期借入金	2,364,965	2,376,348
未払法人税等	188,500	250,977
賞与引当金	425,980	577,846
その他	2,412,008	2,679,670
流動負債合計	10,081,555	11,933,739
固定負債		
長期借入金	1,600,000	1,600,000
製品保証引当金	89,123	89,552
退職給付に係る負債	144,034	157,262
その他	568,989	645,359
固定負債合計	2,402,147	2,492,174
負債合計	12,483,702	14,425,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	12,642,063	13,436,927
自己株式	△854,956	△778,038
自己株式申込証拠金	1,977	1,977
株主資本合計	19,767,282	20,639,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,371	765,012
為替換算調整勘定	406,640	687,725
退職給付に係る調整累計額	263,546	254,586
その他の包括利益累計額合計	1,052,557	1,707,325
新株予約権	16,265	11,388
純資産合計	20,836,106	22,357,777
負債純資産合計	33,319,808	36,783,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	20,937,126	24,765,944
売上原価	16,818,225	19,949,563
売上総利益	4,118,900	4,816,381
販売費及び一般管理費	2,996,258	3,499,404
営業利益	1,122,642	1,316,976
営業外収益		
受取利息	3,745	9,320
受取配当金	14,793	14,606
外国税還付金	730	82,613
為替差益	—	5,632
その他	27,323	21,919
営業外収益合計	46,593	134,093
営業外費用		
支払利息	22,524	37,587
為替差損	448,996	—
保険解約損	—	13,676
その他	10,885	4,508
営業外費用合計	482,406	55,772
経常利益	686,829	1,395,297
特別利益		
固定資産売却益	604	10,284
投資有価証券売却益	—	258
特別利益合計	604	10,543
特別損失		
固定資産売却損	1,390	911
固定資産除却損	21,939	40,955
製品保証引当金繰入額	14,051	—
特別損失合計	37,381	41,867
税金等調整前四半期純利益	650,052	1,363,973
法人税、住民税及び事業税	264,732	289,506
法人税等調整額	△17,545	3,067
法人税等合計	247,186	292,574
四半期純利益	402,866	1,071,399
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,263	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	407,129	1,071,399

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	402,866	1,071,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,730	382,641
為替換算調整勘定	△1,056,625	281,085
退職給付に係る調整額	20,198	△8,959
その他の包括利益合計	△1,070,156	654,767
四半期包括利益	△667,290	1,726,166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△663,245	1,726,166
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,044	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	650,052	1,363,973
減価償却費	799,025	909,629
賞与引当金の増減額(△は減少)	101,462	147,615
貸倒引当金の増減額(△は減少)	622	△1,687
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△47,099	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,519	56
受取利息及び受取配当金	△18,539	△23,927
支払利息	22,524	37,587
為替差損益(△は益)	414,593	△46,649
保険解約損益(△は益)	—	13,676
固定資産売却損益(△は益)	786	△9,373
固定資産除却損	21,939	40,955
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△258
売上債権の増減額(△は増加)	△587,198	△1,109,384
たな卸資産の増減額(△は増加)	△476,680	△1,136,909
仕入債務の増減額(△は減少)	627,056	1,319,940
その他	155,445	△314,467
小計	1,671,512	1,190,777
利息及び配当金の受取額	18,539	23,927
利息の支払額	△14,056	△19,918
法人税等の支払額	△202,420	△211,897
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,473,574	982,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△762,467	△977,122
有形固定資産の売却による収入	1,656	13,191
投資有価証券の売却による収入	—	364
無形固定資産の取得による支出	△70,339	△111,296
その他	△25,217	52,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△856,368	△1,022,651
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,084	—
リース債務の返済による支出	△102,957	△107,398
配当金の支払額	△159,201	△240,179
非支配株主からの払込みによる収入	4,044	—
ストックオプションの行使による収入	621	37,233
自己株式申込証拠金による収入額	—	1,977
自己株式の取得による支出	△25	△276
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249,433	△308,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	△395,849	61,008
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△28,077	△287,398
現金及び現金同等物の期首残高	4,055,232	5,818,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,027,155	5,530,752

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,073,954	3,437,860	2,425,311	20,937,126	—	20,937,126
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	47,382	—	47,382	△47,382	—
計	15,073,954	3,485,242	2,425,311	20,984,508	△47,382	20,937,126
セグメント利益	673,393	281,486	163,111	1,117,990	4,651	1,122,642

(注) 1. セグメント利益のその他4,651千円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,232,838	4,456,402	3,076,703	24,765,944	—	24,765,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	88,167	—	88,167	△88,167	—
計	17,232,838	4,544,569	3,076,703	24,854,111	△88,167	24,765,944
セグメント利益又は損失(△)	△76,324	822,349	552,634	1,298,658	18,318	1,316,976

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)のその他18,318千円は、主に親子会社間の内部取引の相殺であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、各セグメントにおける利益状況をより詳細に把握するために、これまでその他に含めておりました棚卸資産の調整額に関わる費用を各報告セグメントのセグメント利益に含めて計上しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」は、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しております。